

福島県男女共生センター事業実施状況

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

福島県男女共生センターでは、本県の男女共同参画の実現をめざす拠点施設として広く県民に利用されるよう機能の充実に努めるとともに、男女共同参画に関する様々な情報を発信する情報事業、男女の自立と社会参加を促進するための自立促進事業、自主的な交流を支援する交流関連事業などを実施した。

1 管理運営事業

男女共同参画社会実現のための実践的活動拠点として、センターの3つの機能（情報機能、自立促進機能、交流機能）を十分発揮できるよう、効果的・効率的な施設の管理・運営に努めたほか、原子力災害により避難された方に対し、避難により困難になっている地域コミュニティ活動の維持や地域生活における絆を深める活動を支援するため、宿泊料助成を実施するなど、東日本大震災の被災地・被災者の支援に取り組んだ。

また、多くの人々に親しまれ、利用しやすい施設を目指して、絵本コーナーなど親子で利用できるスペースを設けているほか、研修室や宿泊室等施設設備の一部改修等の環境整備を行い、利用促進に努めた。

※平成29年度 施設利用状況 別紙のとおり

2 情報関連事業

男女共同参画についての情報、専門図書、資料などを収集・提供し、男女が新しいパートナーシップを確立するための自己啓発及び活動等を支援した。

また、情報ネットワークの充実に努めるとともに、県外男女共同参画施設の協力を得て、県外の避難者へも広報紙が閲覧できるようにしたほか、広く情報を発信した。

(1) 情報事業

ア 図書室運営

図書室において、男女共同参画社会形成の促進に寄与する図書や資料等約4万点を備え、閲覧及び貸出により利用に供した。

内 容	・購入図書・資料の選定 平成29年度購入図書 200冊、 ・図書・資料の収集、分類、整理並びに貸出、返却管理 図書貸出利用者数 延べ 1,912名 図書貸出冊数 延べ 4,475冊（うちDVD等24点） ・レファレンスサービスなど レファレンスサービス件数 延べ 803件 インターネット利用者数 延べ 414名
-----	---

イ 情報提供

センターの活動内容をはじめとする男女共同参画に関する情報を、ホームページ及びメールマガジン(月1回発行)により提供した。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・センターホームページアクセス件数 延べ 188,398件 ・センターメールマガジン配信件数(月1回) 912件 (30年3月末現在)
-----	--

ウ 広報活動

男女共同参画の考え方や、センターの活動内容について、広報誌「未来館 NEWS」を発行し紹介するとともに、県政広報その他各種媒体を活用し、普及啓発・周知を図った。

内 容	広報誌「未来館 NEWS」第63号～66号発行 各7,000部 県内の図書館、公民館、高等学校、市町村担当課、各都道府県担当課、全国の男女共同参画施設及び被災者支援団体などに送付
-----	--

(2) 調査研究事業

男女共同参画社会の形成を推進するため、現状を把握し、問題解決への道を探るための調査研究を行った。

ア 自主研究

センター事業を進める際の基礎資料となるデータを収集するための調査を行った。

内 容	「男女共同参画センターの調査研究事業に関する調査」 全国の男女共同参画センターにおける調査研究事業の取組状況について調査を行った。
-----	--

3 自立促進事業

(1) 普及啓発事業

男女共同参画に関する講座や講演会などを開催し、男女平等に向けた意識変革をしながら、男女が互いに個人として自立し、責任を担う力をつけて共に社会参画できるよう支援した。

事業名	男女共生地域連携意見交換会
対象者	自治体・企業の女性活躍促進担当者
内 容	男女共同参画社会の実現に向け、県民の意識の醸成や地域特有の課題等解決の糸口を探るため、企業の担当者と館長とが、意見交換を行った。 (1) 未来館トークサロン in 喜多方 開催日：平成29年7月27日(木) 会 場：喜多方市役所 庁議室 内 容：企業における女性の活躍促進や男性の働き方の見直しなどをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合った。 参加者：8名 共 催：喜多方市 (2) 未来館トークサロン in 二本松 開催日：平成30年1月31日(水) 会 場：福島県男女共生センター 第5研修室 内 容：企業における女性の活躍促進や男性の働き方の見直しなどを

	<p>テーマとし、互いの活動や取組等を話し合った。</p> <p>参加者：6名</p> <p>共 催：二本松市</p>
--	---

事業名	未来館次世代スクールプロジェクト
対象者	県内小学生、中学生、高校生
内 容	<p>県内小・中・高校と連携し、互いの性と人権を尊重することの大切さや自分らしさを発揮する大切さを考えるための連携授業を実施した。</p> <p>○連携授業</p> <p>(1) 福島県立安達東高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成29年7月14日(金) 参加者：2年生(64名)、教職員(3名) 内 容：デートDVについて 講 師：センター職員 ・第2回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成29年11月30日(木) 参加者：1年生(70名)、教職員(4名) 内 容：性差に捉われない職業選択 講 師：センター職員 ・第3回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成30年1月12日(金) 参加者：3年生(69名)、教職員(2名) 内 容：ハラスメントについて 講 師：センター職員 <p>(2) 福島県立須賀川桐陽高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成29年7月19日(水) 参加者：2年生(116名)、教職員(3名) 内 容：デートDVについて 講 師：センター職員 <p>(3) 福島県立会津工業高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成29年10月31日(火) 参加者：3年生(123名)、教職員(4名) 内 容：ハラスメントについて 講師：センター職員 ・第2回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成29年11月1日(水) 参加者：3年生(120名)、教職員(4名)

	<p>内 容：ハラスメントについて 講 師：センター職員</p> <p>(4) 福島県立好間高等学校 開催日：平成29年11月15日（水） 参加者：2年生（56名）、教職員（4名） 内 容：デートDVについて 講 師：センター職員</p> <p>(5) 二本松市立二本松第一中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：平成29年11月29日（水） 参加者：3年生（28名）、教職員（3名） 内 容：いろいろな性別について考えよう～LGBT 講 師：二本松第一中学校教諭、センター職員 ・第2回 開催日：平成30年2月8日（木） 参加者：特別支援クラス1～3年生（15名）、教職員（4名） 内 容：性差に捉われない職業選択 講 師：二本松第一中学校教諭、センター職員 ・第3回 開催日：平成30年2月15日（木） 参加者：特別支援クラス1～3年生（15名）、教職員（4名） 内 容：性差に捉われない職業選択 講 師：二本松第一中学校教諭、センター職員 ・第4回 開催日：平成30年2月21日（水） 参加者：3年生（28名）、教職員（1名） 内 容：違いについて 講 師：二本松第一中学校教諭、センター職員 ・第5回 開催日：平成30年2月28日（水） 参加者：3年生（28名）、教職員（1名） 内 容：性差に捉われない職業選択 講 師：二本松第一中学校教諭、センター職員 ・第6回 開催日：平成30年3月9日（金） 参加者：3年生（28名）、教職員（1名） 内 容：性差に捉われない職業選択 講 師：二本松第一中学校教諭、センター職員 <p>(6) 新地町立駒ヶ嶺小学校 開催日：平成29年12月20日（水）</p>
--	---

	<p>参加者：5年生（27名）、教職員（6名） 内容：性差に捉われない職業選択 講師：駒ヶ嶺小学校教諭、センター職員</p> <p>(7) 福島県立安達高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：平成30年1月24日（水） 参加者：2年生（36名） 内容：デートDVについて 講師：センター職員 ・第2回 開催日：平成30年2月27日（火） 参加者：2年生（99名） 内容：デートDVについて 講師：センター職員 ・第3回 開催日：平成30年3月5日（月） 参加者：1年生（64名）、教職員（1名） 内容：性差に捉われない職業選択 講師：センター職員 ・第4回 開催日：平成30年3月6日（火） 参加者：2年生（69名）、教職員（2名） 内容：ハラスメントについて 講師：センター職員 ・第5回 開催日：平成30年3月6日（火） 参加者：2年生（37名） 内容：デートDVについて 講師：センター職員 <p>(8) 南会津町立南会津中学校 開催日：平成30年2月9日（金） 参加者：1～2年生（33名）、教職員（4名） 内容：性差にとらわれない職業選択 講師：センター職員</p> <p>(9) 福島県立塙工業高等学校 開催日：平成30年3月15日（木） 参加者：1～2年生（113名）、教職員（5名） 内容：デートDVについて 講師：センター職員</p> <p>(10) 福島県立平工業高等学校</p>
--	--

	<p>開催日：平成30年3月16日（金）</p> <p>参加者：機械科2年生（70名）、教職員（2名）</p> <p>内 容：デートDVについて</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>○出前講座</p> <p>ふれあい合宿すぎのめこども宿（福島市杉妻学習センター）</p> <p>開催日：平成29年7月29日（土）</p> <p>参加者：合宿参加者（小学5、6年生26名）</p> <p>内 容：男子は、女子は</p> <p>講 師：センター職員</p>
--	---

事業名	イクボス養成講座
対象者	県民
内 容	<p>男女が、年齢や性別に関わらずさまざまな分野で活躍するため、男女共に職場や家庭、地域において、男女共同参画の視点による、「仕事と生活の調和」（WLB：ワーク・ライフ・バランス）の取れた生き方について考える機会を提供し、企業や個人の課題解決・実践を支援する講演会等を実施した。</p> <p>○第1回</p> <p>開催日：平成29年10月17日（火）</p> <p>会 場：ビッグパレットふくしま 小会議室2+3</p> <p>講 師：【講演】横田 智史 氏（（株）ペンギンエデュケーション 代表取締役、NPO 法人ファザーリング・ジャパン東北代表理事）</p> <p>【事例発表】北浦 典子 氏（（株）福島人材派遣センター 郡山支社長）</p> <p>内 容：講演「イクボス経営のすすめ」及び実践企業による事例発表</p> <p>参加者：29名</p> <p>○第2回</p> <p>開催日：平成29年10月19日（木）</p> <p>会 場：会津若松技術支援センター 多目的ホール</p> <p>講 師：【講演】横田 智史 氏（（株）ペンギンエデュケーション 代表取締役、NPO 法人ファザーリング・ジャパン東北代表理事）</p> <p>【事例発表】高橋 理里子 氏（（株）トーネットキャリア 開発事業部長）</p> <p>内 容：講演「イクボス経営のすすめ」及び実践企業による事例発表</p> <p>参加者：13名</p>

事業名	女性の人権啓発事業
対象者	県民
内 容	<p>離婚を考えている女性を対象に具体的かつ現実的にその後の人生設計を提示することで、自分らしく生きていくための自立心を養う講座を実施した。</p> <p>開催日：平成29年11月16日（木）</p> <p>講 師：菅波 香織氏（いわき法律事務所） 宍戸 美香氏（日本FP協会福島支部、ファイナンシャルプランナー）</p> <p>内 容：離婚の基礎知識や生活設計について</p> <p>参加者：13名</p>

事業名	未来館シネマ・アート発信事業 ※自主
対象者	県民
内 容	<p>県民に広く訴えるために効果的な視聴覚的手法である映画の上映を通じて「男女共同参画とは何か」を考える場を県民に提供するため、福島こどものみらい映画祭の共催団体及び実行委員として企画・運営等を実施した。</p> <p>「第9回福島こどものみらい映画祭」</p> <p>開催日：平成29年12月16日（日）</p> <p>参加者：300名</p> <p>会 場：御蔵入交流館</p>

事業名	ふくしま女性活躍応援会議リーダーパワーアップセミナー
対象者	県民
内 容	<p>女性が活躍できる環境づくりを進めるためには、トップの意識が重要であることから、「ふくしま女性活躍応援会議」構成団体の長や県内企業・団体・市町村の長及び応援会議構成団体の加盟企業等の管理職等を対象としたセミナーを開催した。</p> <p>開催日：平成29年8月2日（水）</p> <p>参加者：320名</p> <p>内容：</p> <p>○講演「掘りだそう、自然の力。～人の成長と企業の成長～」 講師：伊藤 秀二氏（カルビー株式会社代表取締役 COO）</p> <p>○ミニトーク コーディネーター：千葉 悦子（福島県男女共生センター館長） 出演者：内堀 雅雄（福島県知事） 伊藤 秀二氏（カルビー株式会社代表取締役 COO） 渡邊 博美氏（福島県商工会議所連合会会長）</p>

	今泉 裕氏（日本労働組合総連合福島県連合会会長）
--	--------------------------

事業名	男女共同参画推進アドバイザー派遣事業
対象者	県内自治体、企業・団体等
内 容	<p>地域における男女共同参画の取組を推進するため、地域における課題の把握や施策に関するアドバイザーを派遣した。</p> <p>また、自治体や企業・団体等が行う研修会等に講師を派遣した。</p> <p>○アドバイザー派遣回数：15回</p> <p>○参加者数：計617名</p>

事業名	パネル展 ※自主
対象者	県民
内 容	<p>○男女共同参画週間パネル展「わたしに合った暮らし・働き方」</p> <p>男女共同参画週間（6/23～6/29）に併せて、ワーク・ライフ・バランスに関する県内企業の具体的な取組事例や、イクボスに関する情報などをまとめたパネルを作成、展示した。</p> <p>・開催日：平成29年6月23日（金）～8月31日（木）</p>

(2) 研修事業

男女共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会に向け、家庭や仕事、地域活動などの生活のあらゆる場面においてその実現を阻害する固定的性別役割分担意識を解消するための事業や、男女のライフスタイルや社会情勢の変化に伴い多様化する課題・ニーズに合わせ個人が自発的に課題解決を図ることができるようにエンパワーメントする事業を開催した。

事業名	未来館エンパワーメント塾
対象者	働いている（これから働きたい）女性
内 容	<p>女性活躍を推進するため、女性が職場や地域でリーダーになることを前向きに捉え、自身の能力・スキルに自信を持って活躍できるよう女性の人材育成を図るためのセミナーを開催した。</p> <p>「働き女子のごほうびセミナー～これからも働き続けたい人が知っておくべき5つのこと～」</p> <p>○第1日</p> <p>開催日：平成29年6月24日（土）</p> <p>参加者：27名</p> <p>内 容：「自己主張（アサーティブ）トレーニング」</p> <p>講 師：丹羽 麻子氏（NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会所属カウンセラー）</p> <p>○第2日</p>

	<p>開催日：平成29年7月15日（土）</p> <p>参加者：20名</p> <p>協力：女性就業支援全国展開事業</p> <p>内容：「安心して働くために！これだけは知っておきたい女性のための労働法基礎」</p> <p>講師：八巻 裕香氏（特定社会保険労務士）</p> <p>○第3日</p> <p>開催日：平成29年8月26日（土）</p> <p>参加者：22名</p> <p>内容：「自己分析～まずは自分を知ることから」</p> <p>講師：星野 雅子氏（女性労働協会認定講師、日本サービスマナー協会講師）</p> <p>○第4日</p> <p>開催日：平成29年9月30日（土）</p> <p>参加者：26名</p> <p>内容：「ストレスを乗り越える マインドフルネス体験&交流会」</p> <p>講師：大田 健次郎氏（マインドフルネス瞑想療法士）</p> <p>○第5日</p> <p>開催日：平成29年10月14日（土）</p> <p>参加者：10名</p> <p>内容：「私が管理職になった理由（ワケ）」</p> <p>講師：千葉 悦子（福島県男女共生センター館長、福島大学副学長）</p>
--	--

事業名	女性のチャレンジ応援講座
対象者	就職・再就職を希望する女性（育児・介護などのために離職している女性等）
内容	<p>育児・介護などのために離職している女性等を対象に、これから仕事を始めるための準備として役立つ知識や技術を習得する講座を開催した。</p> <p>（1）仕事を離れている女性のための準備セミナー</p> <p>○第1回 自己アピール上達法①、②</p> <p>開催日：①平成29年4月13日（木） ②平成29年4月20日（木）</p> <p>参加者：6名</p> <p>内容：アサーティブトレーニング等で自己表現の方法を学び・実践に役立てる。</p> <p>講師：前田 文氏（アズ・コミュニケーション代表）</p> <p>○第2回 面接ロールプレイ</p>

	<p>開催日：平成29年4月27日（木）</p> <p>参加者：6名</p> <p>内 容：採用面接に向けた心構えや服装などのアドバイスを受け、模擬面接を行った。</p> <p>講 師：重巢 敦子氏（リファインアカデミー株式会社 代表）</p> <p>※第1、2回の会場は、福島県男女共生センター</p> <p>(2) 育児や介護等で離職している女性のための職場復帰準備セミナー</p> <p>○第1回 自己理解とわたしの時間管理術</p> <p>開催日：平成30年1月26日（金）</p> <p>参加者：13名</p> <p>内 容：自分の強みを知り自己効力感を高め、家庭と仕事の両立を図るための時間の有効活用法を知る</p> <p>講 師：竹林 利佳氏（キャリアコンサルタント、米国NLP協会トレーナーアソシエイト）</p> <p>○第2回 将来の自分の人生設計図とマネープラン</p> <p>開催日：平成30年2月1日（木）</p> <p>参加者：15名</p> <p>内 容：将来に向けたキャリアプランに向け、現在の生活費等を見直す。</p> <p>講 師：大川 幸子氏（ファイナンシャルプランナー、NPO 法人FP・e-らいふ理事長）</p> <p>○第3回 職場での円満な人間関係づくり</p> <p>開催日：平成30年2月8日（木）</p> <p>参加者：7名</p> <p>内 容：周囲との信頼を築くため、円滑なコミュニケーション法を学ぶ。</p> <p>講 師：竹林 利佳氏（キャリアコンサルタント、米国NLP協会トレーナーアソシエイト）</p> <p>※第1～3回の会場は、いわき産業創造館</p>
--	---

事業名	教師のための次世代育成人権セミナー
対象者	県内の教職員 教育事務所並びに市町村教育委員会・男女共同参画推進部局の関係者
内 容	<p>教職員等を対象とし、人権や男女共同参画の正しい認識を深めるとともに、児童生徒への指導実践に資する講座を開催した。</p> <p>開催日：平成29年8月17日（木）</p> <p><午前の部></p> <p>参加者：49名</p>

	<p>内 容：</p> <p>○講義1「家庭で、学校で、職場で、地域でLGBTを受け止めるには」</p> <p>講師：小林 りょう子氏 (NPO 法人 LGBTの家族と友人をつなぐ会 in 東京 理事)</p> <p><午後の部></p> <p>参加者：11名</p> <p>内 容</p> <p>○講話2「男女共同参画の基礎知識および公開授業実施の目的と授業づくりのポイント」</p> <p>講師：岩淵 優子氏 (福島県教育委員会高校教育課指導主事)</p> <p>○講話1・2「公開授業実施から見えたこと、伝えたいこと」</p> <p>講師1：高橋 卓史氏 (本宮市立第二中学校教諭)</p> <p>講師2：大澤真奈美氏 (福島県立葵高等学校教諭)</p> <p>○研究協議会</p> <p>講師</p> <p>岩淵 優子氏 (福島県教育委員会高校教育課指導主事)</p> <p>高橋 卓史氏 (本宮市立第二中学校教諭)</p> <p>大澤真奈美氏 (福島県立葵高等学校教諭)</p> <p>※福島県教育委員会との共催事業として開催</p>
--	--

事業名	未来館ボランティアセミナー
対象者	県民
内 容	<p>(1) ボランティアセミナー</p> <p>ボランティアのスキルアップのため、外国人に伝わるやさしい日本語について学ぶ研修を実施した。</p> <p>開催日：平成29年8月5日(土)</p> <p>参加者：19名</p> <p>内 容：「やさしい日本語で話そう!!」</p> <p>講 師：花岡 正義氏 (「やさしい日本語」有志の会 代表)</p> <p>(2) ボランティアのつどい</p> <p>ボランティアのより良い活動を考える場として、意見交換を行った。</p> <p>開催日：平成29年6月17日(土)</p> <p>参加者：14名</p>

事業名	研修講師派遣事業
対象者	県民
内 容	市町村や民間団体等が実施する男女共同参画社会実現に向けた研修、

	学習会等にセンター職員を派遣し、地域における取組を支援した。 職員派遣回数：13回（延べ参加者数355名）
--	--

事業名	市町村男女共同参画担当者研修
対象者	県民
内 容	<p>(1) 市町村男女共同参画初任者研修 開催日：平成29年6月2日（金） 参加者：36名（21市町村、3地方振興局）</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基調講義「男女共同参画はなぜ必要か」 講 師：千葉 悦子（男女共生センター館長） ○男女共同参画と福島県の取組 講 師：安田 康男氏（県生活環境部男女共生課主査） ○福島県男女共生センターの役割と事業紹介 担 当：センター職員 ○復興庁男女共同参画班の取組 発表者：佐々木 葵氏（ボランティア・公益的民間連携班／男女共同参画班主査） ○講話「ワークライフバランス&イクボスのすすめ」 発表者：横田 智史氏（NPO 法人 OYAKODO ふくしま代表理事、株式会社ペンギンエデュケーション代表取締役） <p>(2) 市町村男女共同参画担当者会議 開催日：平成30年2月9日（金） 参加者：41名（27市町村、3地方振興局）</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福島県男女共生課からのお知らせ 担 当：安田 康男氏（県生活環境部男女共生課主査） <ul style="list-style-type: none"> ・市町村男女共同参画プラン策定状況 ・29年度事業報告、30年度事業計画 等 ○市町村の取組紹介 報告者：名倉 秀一氏（喜多方市企画政策部企画調整課政策調整室主査） ○復興庁男女共同参画班の取組 発表者：秋田 宇慶氏（ボランティア・公益的民間連携班／男女共同参画班主査） ○講 演：「ソーシャルメディアを活用して思いを伝える」 ○講 師：熊坂 仁美氏（株式会社 SML 代表取締役、メディアロケット編集長、福島県公式 You Tube チャンネルアドバイザー）

	<p>※（１）、（２）とも福島県との共同主催。</p> <p>※（２）は、「男女共生を進めるための住民力向上事業」と併せて開催した。</p>
--	--

事業名	男女共生を進めるための住民力向上事業
対象者	市町村担当者、男女共同参画社会推進のために活動している団体・個人
内 容	<p>男女共同参画社会の推進のために地域で活動している、あるいは今後活動しようとしている団体等を育成・支援するため、事業企画等に役立つ講座を実施した。</p> <p>開催日：平成30年2月9日（金）</p> <p>参加者：58名</p> <p>内 容：</p> <p>○講 演：「ソーシャルメディアを活用して思いを伝える」</p> <p>○講 師：熊坂 仁美氏（株式会社 SML 代表取締役、メディアロケット編集長、福島県公式 You Tube チャンネルアドバイザー）</p> <p>※市町村担当者会議と併せて実施</p>

事業名	企業研修 ※自主
対象者	県内の企業
内 容	<p>企業における男女共同参画の推進とセンター利用の更なる充実を目指して、県内企業に対し、男女共同参画及び仕事と生活の調和に関する情報提供を行った。</p>

事業名	復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業
対象者	自治体職員、社会福祉協議会職員
内 容	<p>「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」（内閣府男女共同参画局作成）を用いて、地域における復興・防災における男女共同参画の推進を担う人材育成研修を行った。</p> <p>講 師：坂田 静香氏（NPO 法人男女共同参画おおた理事長）</p> <p>○第1回</p> <p>開催日：平成29年10月12日（木）</p> <p>会 場：郡山市市立中央公民館・勤労青少年ホーム</p> <p>参加者：27名</p> <p>○第2回</p> <p>開催日：29年10月13日（金）</p> <p>会 場：南相馬市消防・防災センター</p> <p>参加者：21名</p> <p>※研修カリキュラムは、第1回・第2回とも共通で以下のとおり。</p>

	<p>【セッション1】 座学 災害に強い地域社会づくりのため、政策・方針決定過程への女性の参画や男女共同参画視点が不可欠であることを学ぶ。</p> <p>【セッション2】 グループワーク 被災時の課題を記したシチュエーションシートを用いてグループで話し合う。</p> <p>【セッション3】 グループワーク 男女共同参画視点からの防災について、行政における現在の課題や解決策を話し合う。</p> <p>【まとめ】 研修内容に触れながら男女共同参画視点の重要性を確認、振り返りの意見交換やアンケート記入を行う。</p>
--	--

(3) 相談事業

男女が自立し、生き生きとして生きがいのある人生を送ることができるよう、日常生活から生じる様々な問題や悩みに関する相談や、配偶者からの暴力(ドメスティックバイオレンス)に関する相談及びこれらに関する情報提供を行った。

事業名	一般相談
対象者	県民
内 容	<p>性別にとらわれず生き生きと生きていくために、広く生活全般に係る相談を行った。</p> <p>相談内容：広く生活全般に関する相談 配偶者等からの暴力に関する相談 男性相談員による相談</p> <p>相談方法：電話・面接</p> <p>相 談 員：男女共生相談員（嘱託職員）2名、男性相談員1名</p> <p>相談件数：1, 267件</p>

事業名	専門相談
対象者	県民 ※カウンセリングは女性限定
内 容	<p>法律問題や健康に関することについて、専門家による相談を行った。</p> <p>相談内容：法律相談（月2回、各回2時間）相談件数 13件 健康相談「女性による女性のためのカウンセリング」（月2回、各回一人1時間程度） 相談件数 8件</p> <p>相談方法：面接（予約制）</p> <p>相 談 員：法律相談 弁護士 健康相談（カウンセリング） 女性臨床心理士</p>

事業名	チャレンジ支援相談
対象者	内職や就業（再就職）を希望する女性等
内 容	<p>内職希望者からの相談や内職求人受付、あっせんを行うほか、女性の就業援助に関する相談、情報提供を行った。</p> <p>相談方法：電話・面接</p> <p>相談員：女性就業援助相談員（嘱託職員）</p> <p>※配置個所 男女共生センター及び県内3ヶ所（郡山、会津若松、いわきの県地方振興局内）に相談コーナーを設置</p> <p>相談件数：1,980件</p> <p>内職あっせん者数：400名</p>

(4) 介護実習・普及センター事業

高齢者介護の実習等を通じて、地域住民への基礎知識、介護技術の普及を図るとともに、「高齢化社会は国民全体で支えるもの」という考え方を地域住民に広く啓発する事業を実施するほか、福祉用具の展示並びに住宅改修を含めた相談体制の整備等を行った。

事業名	介護実習・普及事業
対象者	県民、介護専門職員
内 容	<p>介護の実習等を通じて、県民への介護知識、介護技術の普及を図るため、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に業務を委託して各種講座等を実施した。</p> <p>(1) 県民介護講座の実施</p> <p>初級介護講座、認知症介護セミナー、介護ワンポイント講座、介護実技基本講座、オーダーメイド介護講座、認知症サポーターキャラバン関連研修、各種イベント等への参加（高齢者疑似体験・車イス体験等）</p> <p>実施講座数：63回、63日</p> <p>参加者数：1,905名</p> <p>(2) 地域介護専門職員研修の実施（介護専門職員を対象）</p> <p>地域アセスメント研修、企画力アップ研修、相談援助面接研修、福祉用具研修、住宅改修研修、排泄ケア研修</p> <p>実施講座数：13回、26日</p> <p>参加者数：296名</p> <p>(3) 介護セミナー（介護の日記念フォーラム2017）</p> <p>開催日：平成29年12月9日（土）</p> <p>参加者数：170名</p> <p>内容：</p> <p>①映画上映「ケアニン～あなたでよかった～」</p> <p>②「介護」に関する県民参加企画</p>

	<p>運営協力：一般社団法人福島県介護福祉士会、福島県福祉人材センター</p> <p>ア：心とからだのリフレッシュ！～癒しのフットケア体験～</p> <p>イ：介護よろず相談コーナー</p> <p>ウ：食事の介助とその工夫（介護実技基本講座）</p> <p>エ：福祉のお仕事相談コーナー</p> <p>(4) 福島県介護研修事業検討委員会の開催</p> <p>平成29年12月14日（木）</p>
--	--

事業名	福祉用具・住宅改修普及支援事業
対象者	県民
内 容	<p>(1) 福祉機器展示室の運営</p> <p>福祉機器展示室において、各種用具を展示するとともに、福祉機器企画相談員（嘱託職員2名）を配置し、一般県民からの福祉用具・住宅改修に関する相談を受け、助言指導を行った。</p> <p>来所者数：3,706名</p> <p>相談件数：687件（相談内容件数766件）</p> <p>相談内容：移動機器（174件）、パーソナルケア関連（111件）</p> <p>(2) 福祉用具・住宅改修普及支援協議会の開催</p> <p>福祉用具・住宅改修の普及事業の円滑な実施を図るため、理学療法士、作業療法士、建築士、福祉用具取扱業者、行政関係者からなる協議会を開催し、優良な機器の選考・展示方法及び住宅改修相談等について検討を行った。</p> <p>平成29年12月14日（木）</p>

4 交流関連事業

(1) 交流関連事業

県民が、主体的に男女共同参画についての問題に取り組む実践的活動拠点としての機能を発揮するため、自主的な交流の場として男女共生センターを提供するとともに、男女の平等と自立を目指す個人や様々な団体・グループ間の相互交流を促進するための事業を実施した。

事業名	未来館ネットワーク推進プログラム
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画社会の意識啓発を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、未来館ネットワーク推進プログラム（未来館フェスティバル）を開催した。</p> <p>開催日：平成29年9月2日（土）・3日（日）</p> <p>参加者：延べ4,388名</p> <p>内 容</p>

	<p>(1) シンボルイベント (2日)</p> <p>内 容：講演「自分をすり減らさない『ほどほど』の生き方」 講 師：深澤 真紀氏 (コラムニスト、コメンテーター) 参加者：230名</p> <p>(2) 未来館ネットワークカフェ (2日)</p> <p>内 容：県内の団体、自治体職員等による情報交換、交流 参加者：42名</p> <p>(3) 県民参加企画 (2日)</p> <p>内 容：県民が自主的に企画・運営を行った活動紹介、パネルディスカッション、ワークショップ、パネル展示等 出展数：22企画</p> <p>(4) 認知症介護セミナー (3日)</p> <p>※福島県社会福祉協議会主催</p>
--	--

事業名	男女共生次世代交流会
対象者	県内で土木・建設を学んでいる女子高校生
内 容	<p>若者世代を対象としてあらゆる分野における女性の参画などのテーマで意見交換会等を実施し、男女共同参画の考え方を学ぶ機会を提供した。</p> <p>「ふくしま“けんせつ・どぼく女子”座談会」</p> <p>内 容：県内の建設・土木会社で働く女性から、仕事の魅力・やりがいや一日の生活の様子などを聞き、また、働く女性を交えた意見交換を行いながら、女性が建設・土木業界で働く意欲の向上や、学生同士のネットワークづくりを行った。</p> <p>(1) 郡山会場 開催日：平成29年12月6日 (水) 会 場：福島県立郡山北工業高等学校 参加者：24名</p> <p>(2) 会津会場 開催日：平成29年12月19日 (火) 会 場：福島県立会津工業高等学校 参加者：28名</p>

事業名	男女共同参画実践支援事業 (男女共生を進めるための県民企画応援事業) ※自主
対象者	県内で活動中または活動予定のグループ・団体

内 容	<p>県内の NPO 等のグループが主体となって自主的に企画・実施する講座やワークショップ等を公募して、センターが企画・広報・チラシ作成の協力、会場・設備等の提供、運営協力等の支援を行った。</p> <p>採択件数：4 件</p> <p>採択企画（団体）：</p> <p>①「女性支援地域連携フォーラムー女性自立支援法（仮称）制定に向けてー」（全国婦人保護施設等連絡協議会「女性支援地域連携フォーラム」福島キャラバン事務局）</p> <p>②「公開ワークショップ・自己尊重トレーニング」（NPO 法人ウィメンズスペースふくしま）</p> <p>③「もっと知りたい！女（わたし）のカラダ in 郡山」（ウィメンズセンター大阪）</p> <p>④「児童生徒への性暴力予防・防止教育～性を正しく理解する～」（NPO 法人ウィメンズスペースふくしま）</p>
-----	---

事業名	第 61 回全国女性会館協議会全国大会 in 福島 ※新規、自主
対象者	女性関連施設関係者、県民
内 容	<p>全国から女性関連施設関係者、男女共同参画に関心のある方々を集い、意見交換や情報交換を行うとともに、震災後の福島の現状を全国に発信した。</p> <p>開催日：平成 29 年 12 月 2 日（土）～3 日（日）</p> <p>○一日目</p> <p>（1）開会式</p> <p>◆主催者挨拶 福島県知事 内堀雅雄 特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事 納米恵美子</p> <p>◆来賓祝辞 内閣府男女共同参画局 局長 武川恵子氏 文部科学省生涯学習政策局 局長 常盤 豊氏</p> <p>（2）第 11 回事業企画大賞表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業企画大賞（1 事業）、奨励賞（3 事業）、特別賞（1 事業）表彰 ・講評 審査委員長 藤野美都子（福島県男女共同参画審議会会長） ・事業企画大賞 大賞事業紹介 「女性による元気な地域づくり応援講座（元気塾）」事業 福岡県男女共同参画センター「あすばる」 <p>（3）基調講演&パネルディスカッション 「災害・復興と福島の女性たちの今」</p> <p>◆基調講演 講師：千葉悦子（福島県男女共生センター館長）</p>

◆パネルディスカッション

パネリスト：

- 苅米照子氏（NPO法人ウィメンズペースふくしま代表）
- 菅野瑞穂氏（きぼうのたねカンパニー株式会社代表取締役）
- 富田 愛氏（NPO法人ビーンズふくしま みんなの家@ふくしま 事業長）
- 吉田恵子氏（富岡町社会福祉協議会 事務局次長）

コーディネーター：

- 藍原寛子氏（ジャーナリスト、Japan Perspective News 株式会社 代表）

(4) 全国女性会館協議会全体会

(5) 情報交換会

○二日目

(1) バス視察

◆視察内容

- ①川内村コミュニティセンター
講話：遠藤雄幸氏（川内村長）
秋元洋子氏（川内村婦人会長）
- ②浪江町立請戸小学校跡
- ③浪江町役場、仮設商店街まち・なみ・まるしえ
- ④飯館村交流センター「ふれ愛館」
講話：菅野典雄氏（飯館村長）
渡邊とみ子氏（までい工房美彩恋人代表）
- ⑤全体総括・振り返り（車中）